

令和4年5月23日 定例教育委員会 会議録	
1 開催日時及び場所	
・令和4年5月23日（月） 午後14時30分 ～ 午後15時12分	
・教育委員会室	
2 出席者	
教育長	堀 貴 雄
事務局職員	
委員	稲 本 正（オンライン）
副教育長	矢 本 哲 也
委員	野 原 正 美
教育次長	小 野 悟
委員	竹 中 裕 紀
義務教育総括監	香 田 静 夫
委員	村 上 啓 雄
教育総務課長	関 谷 英 治
教育総務課教育主管（高）	中 川 敬 三
教育総務課教育主管（小中）	日 比 光 治
教育総務課 ICT 教育推進室長	加 藤 昌 宏
教育財務課長	井 上 巧 己
教育施設整備監	岩 田 泰
教育研修課長	神 出 建 太 郎
学校支援課長	下 野 宗 紀
学校支援課教育主管（小中）	山 田 高 秀
3 議事日程等	
事務局報告 政策（1）について、非公開とすることを決定	
4 会議録	
令和4年4月25日開催の定例教育委員会の会議録を承認	
5 審議の概要	
別添のとおり	

会 議 録

発 言 者	発 言 内 容
報第1号	令和5年度使用小・中学校（特別支援学校の小・中学部を含む）用教科用図書の採択基準について
学校支援課長	前回の定例教育委員会において、「採択基準(案)」について審議いただき、教科用図書選定審議会にお諮りすることについて承認をいただいた。5月13日に、岐阜県教科用図書選定審議会を開催し「採択基準(案)」について審議いただいたところ「適当である」旨の答申をいただいた。これを受け、教育長専決により「令和5年度使用小・中学校(特別支援学校の小・中学部を含む)用教科用図書の採択基準」を決定し、県内の各市町村教育委員会、各公立特別支援学校長、岐阜大学教育学部附属小中学校長並びに各私立の小中学校長及び中学校長に対し、令和4年5月13日付け学支第252号にて通知した。
稲本委員	採択された教科書について、教師がどれくらい使わなければならないかを決めたものはあるのか。
学校支援課長	現行の学習指導要領では、過去の学習指導要領と比べて、教科担任による一定の裁量は認められているが、基本、この教科書に沿った内容を授業で行っていくことが教科書の役割である。
稲本委員	県外の私学であるが、教科書に沿った授業をしていない学校がある。私学は教科書を無視した指導をしてよいのか。公立は、より教科書に基づいた指導を重要視しなければならないのか。
学校支援課長	教科書から逸脱した指導をされているという私立学校の現状は分かりかねるが、基本は学校では学習指導要領で定められた内容を教えるということになっている。私学と公立との違いはない。学習指導要領に則った内容を指導するのが基本である。
稲本委員	承知した。これから、教科書の利用について、自由度がもっと出てくるような気がしている。世界的な動き、ICT教育、ふるさと教育が始まっている。教科書は、それぞれの地域のふるさと教育に関係なく作成されている。
教育長	報第1号について、挙手により採決する。
教育長	全員賛成により原案のとおり承認する。
議第1号	令和5年度県立高等学校の入学者選抜における「県外募集実施校に係る入学者の選抜」について
教育総務課長	令和5年度入学者選抜においては、令和4年度に引き続き県外募集を行いたい。令和5年度については、令和4年度に実施した18校に加え、新たに大垣東高等学校を新規実施校としたい。募集学科、検査内容や選抜方法等を含めた選抜の概要は、令和4年7月末までに岐阜県教育委員会において発表する予定であり、そののち、各学校は詳細を10月までにHPで公表する予定である。本日、承認をいただければ、早々に記者公表を行いたいと考えている。

稲本委員	生徒が集まらないから県外募集を行うという発想ではなく、得意なところをどんどん伸ばしていくという発想がよい。それがその学校の魅力となる。飛騨神岡高校のロボットはすごい。なかなかいい教師もいる。スーパーカミオカンデとタイアップして宇宙科でも作ればもっともっと生徒は集まるのではないかと思う。益田清風高校でふるさと教育・地域文化伝承を募集分野としているが、話題になった『君の名は』の映画など、もっと全国・全世界につながるようなアピールをした方がいい。定員割れした学校の生徒を増やすために行うべきではない。増える学校はどんどん増えてもいいと思う。岐阜高校に県外募集があってもよいし、加納高校には日比野克彦が卒業生なのでそれを活かしたPRができる。高校のブランド化、県のブランド化を上げつつ学生も集める。岐阜大学との共同研究など、いろいろな可能性がある。募集の仕方をもっと工夫した方がよい。
教育長	今までの実績等を説明してほしい。
教育総務課長	<p>県外募集については平成30年度の入試から導入している。当初は募集定員の割れるような学校からスタートしたが、全国で活躍する部活動を令和3年度から新たな分野として募集をしたところ、それまで一桁だったが12名の出願があり、全員合格している。令和4年度は19名の出願があり、入学している。生徒が「岐阜へ来てよかった。岐阜へ来たから、次へつながった」と思えるような分野を今後も開拓、拡充をしていきたい。</p> <p>ふるさと教育については県内全ての学校で実施し、高校の活性化、魅力化を進めているところ。そういったところも、募集する分野とすることも検討したい。</p>
教育長	県外へのPRとして、全国紙での広告やニュースの時のバナーに出るようにしている。これまで、それを見たという受検者もいた。工夫をしながら、県外へもPRをしていきたい。
竹中委員	昨年まであって、今年から募集をしていないところがいくつかある。これは、受け入れる体制がなくなってしまったのか、それとも生徒が集まらないからなのか。
教育総務課長	募集を停止した理由は、応募がないとか、指導者の問題など、様々な問題が考えられる。分析をして、事前に手立てがとれるようであれば、学校と連携を取りながら幅を広げていけるよう進めていきたい。
竹中委員	継続性がないと、入学した生徒も困るだろう。募集をするなら長期間、継続をさせないといけない。
教育長	人的な部分と、施設設備の部分といった条件整備が必要。来年度以降も検討していきたい。
教育長	議第1号について、挙手により採決する。
教育長	全員賛成により原案のとおり可決する。
事務局報告（その他）	
(1) 令和4年度教育委員行事予定表	
教育総務課長	<p>1点目は、6月の定例教育委員会会議の日程の変更である。6月13日に変更をした。</p> <p>2点目は、7月11日全国都道府県教育委員会連合会第1回総会は当初、岡山県で</p>

	<p>7月11日、12日開催の予定だったが、11日だけのオンラインでの開催となった。</p> <p>3点目は8月のスーパーハイスクールセッションが8月27日の午後に決定した。会場は岐阜大学で、野原委員に出席いただく。</p>
事務局報告（政策）	
(1) 岐阜総合学園高等学校2号館建築工事の請負契約について（非公開案件）	
<p>岐阜総合学園高等学校2号館建築工事の請負契約について報告がなされた。</p> <p>本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。</p>	
閉会	
<p>午後15時12分、閉会を宣言する。</p>	